

# 週間漁海況情報 2025年第7号

令和7年2月18日発行

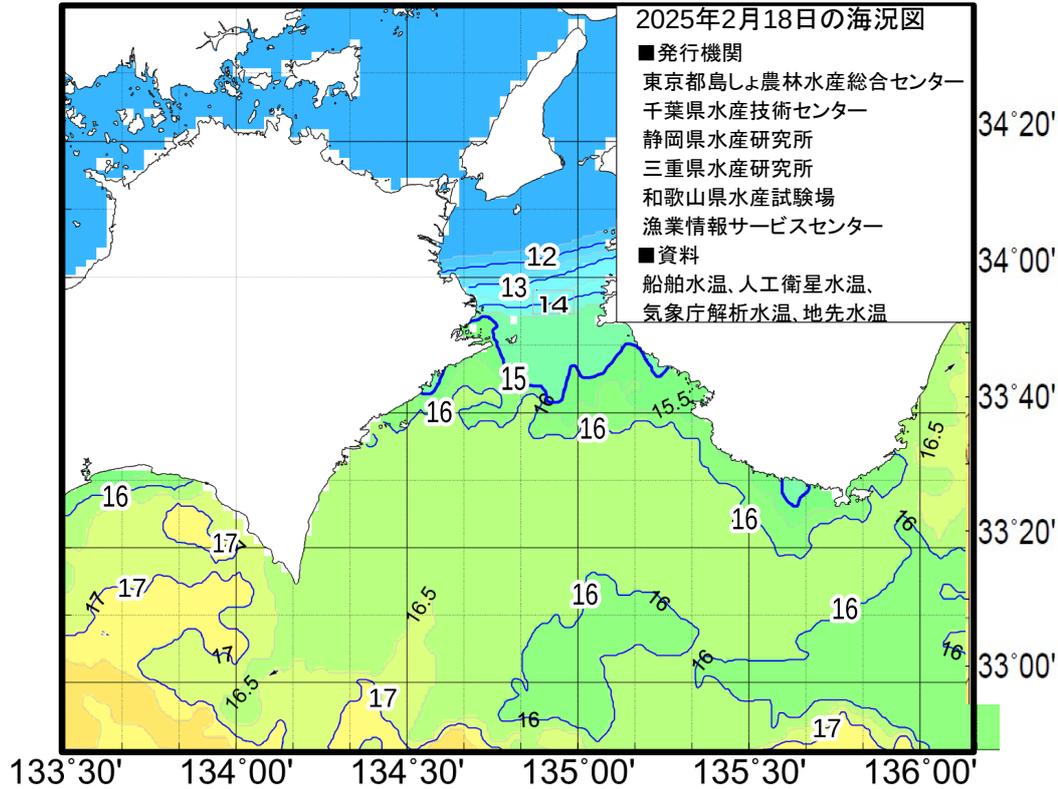
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖80マイル付近、潮岬沖100マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「著しく離岸」している。

黒潮の表面水温は18～20℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で11、紀伊水道で11～15、海部沿岸で15～16℃台となっている。

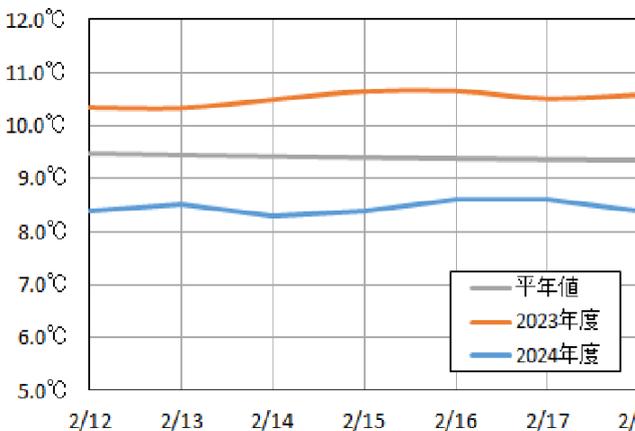


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)  
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~  
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~  
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。  
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

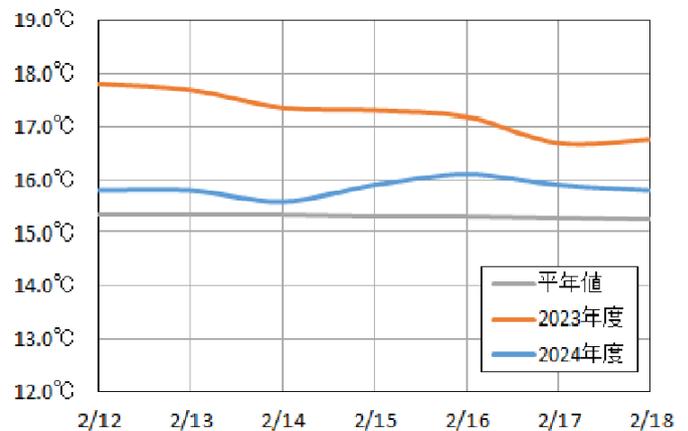
### 2. 地先水温(2月12日~2月18日)

鳴門地区の水温は、8.3~8.6℃で「やや低め」、浅川地区は、15.6~16.1℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、7.3~7.5℃だった。

#### 鳴門地区



#### 浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(2月19日~2月25日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区では「やや低め」、浅川地区では「平年並み」で推移する見込み。

**漁況** (2月10日～2月16日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

延縄では、あまだい類が大きく増えて0.9ト、ブリが増えてめじろ級主体に0.4ト水揚げされた。  
 底びき網では、コウイカが大きく増えて大主体に3.4ト、えそ類が0.8ト、  
 シリヤケイカが大きく減って0.4ト、ヒラメが0.3ト、かます類が0.2ト、  
 あんこう類が小主体に0.2ト水揚げされた。  
 建網では、ボラが増えて大主体に0.4ト水揚げされた。  
 小型定置網では、マアジが増えて1.7ト、ブリが大きく減ってつばす級主体に0.5ト、  
 ボラが大主体に0.5ト、キチヌが大きく増えて0.4ト、ヒラメが0.4ト、  
 すずき類が大きく増えて特大主体に0.3ト、マダイが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

小型定置網では、カタクチイワシが1ト、アオリイカが大きく増えて0.4ト、  
 メジナが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	57	あまだい類	862	15		↗↗
		25	ブリ	420	17	めじろ級主体	↗
	底びき網	23	コウイカ	3,382	147	大主体	↗↗
		25	えそ類	832	33		→
		22	シリヤケイカ	411	19		↘↘
		23	ヒラメ	292	13		→
		21	かます類	226	11		→
		20	あんこう類	201	10	小主体	→
	建網	5	ボラ	353	71	大主体	↗
	小型定置網	23	マアジ	1,679	73		↗
		20	ブリ	509	25	つばす級主体	↘↘
		13	ボラ	497	38	大主体	→
		26	キチヌ	359	14		↗↗
		25	ヒラメ	358	14		→
19		すずき類	347	18	特大主体	↗↗	
20		マダイ	247	12		↗↗	
海部沿岸	小型定置網	7	カタクチイワシ	1,003	143		→
		43	アオリイカ	359	8		↗↗
		6	メジナ	320	53		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘